

# 「六ヶ所・核燃料サイクルセミナー」の開催について

日本原子力研究開発機構は、六ヶ所村における我が国で唯一の核燃料サイクル施設へのサイクル技術支援及び技術開発協力を行ってきております。

本セミナーは、「核燃料サイクルの先端研究開発」を副題とし、核燃料サイクルの将来を視野に、最新の分析・計測技術、分離・変換、消滅処理などの技術開発及び多分野での応用が期待される基盤的研究開発について報告するとともに、幅広い視点からの議論を踏まえ、今後の研究開発の在り方について忌憚のない御意見を頂くこととしております。



(昨年の講演風景)

▶ 1. 日時 **平成 27年 7月 9日 (木)**

▶ 2. 場所 **六ヶ所村文化交流プラザ「スワニー」 大会議室**

## 第Ⅰ部 セミナー 〈 13 : 00-17 : 15 〉

参加無料

基調  
講演

「なぜ核燃料サイクルか  
～ シーボルクとラブロックの足跡を追い、先人の志に学ぶ～」

秋元 勇巳

三菱マテリアル株式会社 元会長  
一般財団法人日本原子力文化財団 元理事長

### 研究開発の現状

- 【先進的基礎研究開発の現状】  
(裏面参照)
- 【サイクル技術と先端研究開発の現状】  
(裏面参照)

## 第Ⅱ部 懇親会 / ポスターセッション 〈 17 : 20-18 : 40 〉

会費制 (4,000円)

主催：日本原子力研究開発機構

共催：東京工業大学、東北大学

協賛：日本原燃株式会社、原子力バックエンド推進センター

後援：青森県、六ヶ所村、日本原子力学会東北支部

## 【先進的基礎研究開発の現状】

座長：金 聖潤（東北大学）

- 「中性子を使って非破壊で埋もれた界面を観る」  
武田 全康（原子力機構 量子ビーム応用研究センター 副センター長）
- 「東北大学六ヶ所村分室における先進的ガンマ線検出器の開発」  
人見 啓太郎（東北大学大学院量子エネルギー工学専攻 准教授）
- 「放射性物質・金属に対する革新的な化学分離技術 “エマルションフロー法”」  
長縄 弘親（原子力機構 原子力基礎工学研究センター 研究主席）
- 「J-PARC 核変換実験施設計画」  
前川 藤夫（原子力機構 J-PARCセンター 核変換ディビジョン 副ディビジョン長）

## 【サイクル技術と先端研究開発の現状】

座長：長縄 弘親（原子力機構）

- 「核燃料サイクルの元素・資源戦略研究-From Advanced ORIENT Cycle to Après ORIENT-」  
小澤 正基（東京工業大学大学院理工学研究科原子核工学専攻 教授）
- 「東北大学六ヶ所村分室における高レベル放射性廃液の核種分離プロセスの研究」  
金 聖潤（東北大学大学院量子エネルギー工学専攻 准教授）
- 「新型ガラス溶融炉の開発状況について」  
吉岡 正弘（日本原燃株式会社 フェロー（ガラス固化技術））
- 「東海再処理施設及び再処理技術開発の今後について」  
清水 武範（原子力機構 核燃料サイクル工学研究所 計画管理室長）

### 会場のご案内



### ■ お問い合わせ



国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

六ヶ所・核燃料サイクルセミナー事務局（担当：大川、広瀬）

電話番号：029-282-1133（内線 42024）

E-Mail：be-cycleseminar@jaea.go.jp